

## みずほマーケット・トピック(2019年12月5日)

# ECB 政策理事会プレビュー~デビュー戦、3 つの見どころ~

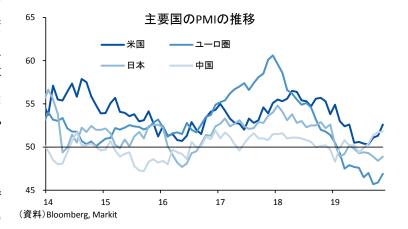
来週 12 日、ラガルド ECB 総裁にとって最初の政策理事会が開催される。9 月の政策理事会で持てるカードを概ね出し切り、過去に例をみない分裂をもたらしたばかりであることを思えば、12 月に限らず当面は現状維持を基本とすべき。11 月以降、世界的に製造業 PMI の持ち直しが見られており、ユーロ圏もようやく底打ちの兆しが見られているが、他国・地域に比べてはっきりと劣後している状況に変わりはない。2020 年いっぱい、ECB は「良くて現状維持、場合により追加緩和」を想定するのが妥当だろう。敢えて今回会合の注目点を列挙するとすれば①新しい「物価安定の定義」を含めた金融戦略の修正スケジュール、②①において気候問題を織り込もうとしていることへの見解、③マイナス金利の見通しへの見解。特に①と②は欧州全体で過熱気味のトピックであり ECB がどれほど巻き込まれるのかは来年以降の注目トピックとなりそう。

#### ~長期化は想定通り~

昨日の為替市場は米中貿易戦争の長期化を懸念するムードが若干和らいでいるものの、ドル/ 円相場では冴えない値動きが続いている。本欄では繰り返し論じているが、「中国の不公正と戦う 大統領」というポーズがトランプ米大統領の支持層に対するアピールになる以上、早々に完全解決 など期待できるはずもない。現在の米政治情勢を見る限り、大統領が交代しようと、政権政党が代 わろうと、米国の強硬な対中姿勢が変わる可能性も高くなさそうに見受けられる。むしろトランプ大 統領は「ディールという損得勘定が働きやすい分、まし」という見方もあることに留意したいところだ。 本当に人権や領土に問題意識があり、果ては覇権争いという視点を重視してしまえば、両国の関 係は半永久的に緊張が続くはずである。来年も再来年も米中貿易戦争への懸念から相場が上下 動する展開は不可避という構えで市場を見ておく必要があるだろう。

#### ~2020年いっぱい、「良くて現状維持、場合により追加緩和」~

ところで1週間後の来週12日にはラガルドECB総裁にとって最初の政策理事会が開催されるので簡単に論点を整理しておきたい。9月の政策理事会で持てるカードを概ね出し切り、過去に例をみない分裂をもたらしたばかりであることを思えば、12月に限らず当面は現状維持を基本とすべきだろう。11月以降、世界的に製造業PMIの持ち直しが見られており、ユーロ圏もよう



2019年12月5日 1

やく底打ちの兆しが見られているが、他国・地域に比べてはっきりと劣後している状況に変わりはな い。とりわけ域内成長のエンジンになるべきドイツがはっきりと勢いを取り戻す雰囲気はない。2020 年1月になれば EU 自動車環境規制(排ガス規制)のさらなる強化も控えており、欧州だけではなく 世界を下押ししてきた自動車産業がさらに失速することが予見されている。2020 年いっぱい、ECB は「良くて現状維持、場合により追加緩和」を想定するのが妥当であろう。

#### ~「金利」と「量」の順番を考える~

ECB が立たされている現状を振り返っておくと、9 月の政策理事会で ECB は 11 月 1 日から拡 大資産購入プログラム(APP、月間 200 億ユーロ)を再開することを決定、その継続期間として「利 上げを始める直前まで(shortly before we start raising the key ECB interest rates)」というコミットメ ントを提示している。「金利」と「量」の調節に関し、時間的順序を予め決めておく表現は前ドラギ体 制では「シーケンス文言」と呼ばれ ECB ウォッチャーの中では注目されてきた経緯がある。具体的 には2018年4月の政策理事会までは利上げの時期に関し「我々の純資産購入(≒APP)を十分に 超える期間(well past the horizon of the net asset purchases)」経過してから行われるというシーケ ンス文言があった。この「十分に超える期間」がどの程度を指すのかは定かではなかったが「恐らく 半年程度」というのは市場予想の中心であった。その後、2018年6月の政策理事会で2018年12 月のAPP終了が予告され、このシーケンス文言は削除され、「少なくとも 2019年夏が終わるまで(at least through the summer of 2019)」は利上げは封印するとの表現に置き換えられた。つまり、「APP 終了から恐らく半年程度で利上げ」という市場の読みとは大きく外れない形(厳密には少し長い形) で利上げを予告したのであった。

もっとも、周知の通り、 2018 年後半からはファン ダメンタルズの悪化が顕 著になってしまったことで 「2019 年夏」が終わった 9 月の政策理事会では 利上げどころか利下げが

### ECBのスタッフ見通し(2019年9月)

(%) 2018 2019 2020 2021 消費者物価上昇率(HICP) 1.8  $0.7 \sim 2.3$ 1.1~1.3  $0.4 \sim 1.6$ (前回:2019年6月) 1.8  $(1.2 \sim 1.4)$  $(0.7\sim2.1)$  $(0.8 \sim 2.4)$ 実質GDP 0.9~1.3  $0.4 \sim 2.0$ 1.9  $0.4 \sim 2.4$ (前回:2019年6月) 1.8  $(0.9 \sim 1.5)$  $(0.5\sim2.3)$  $(0.4 \sim 2.4)$ 

(資料)ECB、為替レート(ユーロ/ドル)の前提は2019~21年が1.14。

実施されてしまった。それゆえ、シーケンス文言は基本的に信用できるものではない。だが、今回 は「利上げを始める直前」という比較的はっきりとした表現を使用している。例えば APP が 2020 年 12 月末までの 1 年間は継続されると仮定すれば、利上げの想定時期はその直後となる 2021 年 1 月ないし3月という意向だろうか。確かに、APP終了を決断できるくらい余裕のある状況で矢継ぎ早 に利上げにまで踏み切らなければまた機会を逸してしまうというのが実情だろう。とはいえ、最新の ECB スタッフ見通しでは 2021 年になってもユーロ圏消費者物価指数 (HICP) は+1.5% (中央値) に しかならない。だからこそ金融政策戦略で物価目標の対称性を強調して緩和継続をアピールする のだろうが、だとすると利上げなど今後2年間は無理というのが妥当な見方ではないか。

#### ~敢えて考える3つの見どころ~

ラガルド総裁のデビュー戦である来週の政策理事会に関し、敢えて注目点を列挙するとすれば

2019年12月5日 2 ①新しい「物価安定の定義」を含めた金融戦略の修正スケジュール、②①において気候問題を織り込もうとしていることへの見解、③マイナス金利の見通しへの見解であろうか。

このうち①と②は基本的には同一論点だが、とりわけ②については各種メディア報道でも大きく報じられ、今週の本欄¹でも詳しく議論した。記者会見でもラガルド総裁の思いを再確認する質問が必ず出てくるだろう。①については12月2日に実施された欧州議会の公聴会において「近い将来に始める(will start in the near future)」、「戦略見直しは2つの原則に基づいて実施される。徹底した分析と偏りのない姿勢(thorough analysis and an open mind)だ。これには熟慮と幅広い審議が要求される」と述べている。具体的な期間には触れられていないが、議論を始めて2か月や3か月で答えが出るような話ではないということなのだろう。現在、声明文には「対称性へのコミットメント(commitment to symmetry)」を約束する文言が挿入されているため、早急に戦略を見直して「物価安定の定義」に対称性を組み込まなければならないというほど火急の事態でもない。「徹底した分析(thorough analysis)」のために相応の時間を取るのだとすれば、やはり早くても2020年中頃、場合によっては2020年いっぱいを見るべきテーマではないか。

また、そうした腰の入った作業の中で②の論点も考慮していくことになると言われている。ドイツを筆頭として金融政策運営において気候問題という論点を入れることに関して難色を示す当局者は相応に存在しそうである。しかし、欧州議会の証言においてもラガルド総裁は「物価安定の二の次だが(secondary to protecting price stability)」と断った上で、「気候問題をECBのマクロ経済モデルに織り込むべきであり、EU域内の銀行を監督するにあたってもそのリスクを考慮に入れる」と意気込みを見せている。また、ECBは化石燃料に関連する事業からの融資を撤退しつつある欧州投資銀行(EIB)の発行する債券の主な買い手であると述べ、既に間接的な環境貢献をしていることもアピールしている。この意気込みの強さを見る限り、今回の戦略見直しにあたって気候問題を入れることが1つの争点となることは不可避の情勢と見受けられる。

なお、今回、どの程度の時間が割かれるかは不明だがマイナス金利の妥当性を問う③の論点について問う記者も現れるかもしれない。既報の通り、12 月にはスウェーデン国立銀行(リクスバンク)がマイナス金利政策を撤回させると見られている。このところ欧州ではマイナス金利に対する批判的な論調が勢いづいており、例えば今週3日にはビスコ伊中央銀行総裁が「マイナス金利はほとんど役に立たず、金融システムに有害な副作用を及ぼす恐れがある」と述べているが、こうした論調はユーロ圏財務相会合で支配的なものだとする報道も見られている。マイナス金利政策のメッカである欧州で「マイナス金利政策は意味の無いものだった」との総括が固まってくるかどうかは、ECBがこうした流れに乗るかどうかに依存してくるだけに注目の論点と考えられる。

市場営業部 チーフマーケット・エコノミスト 唐鎌大輔 (TEL: 03-3242-7065) daisuke.karakama@mizuho-bk.co.jp

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようにお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

2019年12月5日 3

-

<sup>1</sup> 本欄 2019 年 12 月 2 日号『金融政策に環境配慮は必要か?~制御すべきは気候ではなく物価~』をご参照下さい。

バックナンバーをご希望の方は以下のサイトからお取り頂くことも可能です http://www.mizuhobank.co.in/forex/econ.html (Archives) http://www.mizuhobank.co.in/forex/econ.backnumber.html

### 1958	http://www.mizuhobank	望の方は以下のサイトからお取り頂くことも可能です c.co.jp/forex/econ.html (Archives) http://www.mizuhobank.co.jp/forex/econ.backnumber.html
2019年17月2日	発行年月日	過去6か月のタイトル
2019年11月20日   2012年11月22日		
2009年17月2日   中央リスの前体・リケア・対体に2009年   1009年17月2日   1009年17月2日		
2009年11月2日		
2009年1月22日   東京版 1.5年元末総元 機会のこの場合の17   1982年   1982年		
**PAPUL も、世界の (大きな) (本語などの (大きな)		
***		
2009年19月1日	2010   11/3202	
2009年17月1日   1月	2019年11月19日	
2009年17月1日   1月		
2019年1月12日	2019年11月15日	
2009年11月12日	2019年11月14日	
2009年11月1日   空本だ   空本だ   空本   空本   できまって   で		
2019年11月1日 漫画版 2019年11月1日 2011年   2月代版   2月代成   2		
2019年10月2日 アリングの選択・原州・田田の信題はあるか? - 2019年10月2日 アリングの選択・原州・田田の信題はあるか? - 2019年10月2日 アリングの選択・原州・田田の信題はあるか? - 2019年10月2日 産業産 産業 (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本)		
2019年10月30日   フリルド目に登録を確認さりの協議		
2009年10月26日		
2009年10月34日   大学教育機能のICS関連要と、意味の"生き写」、		
2019年19月2日 東大原生 地小電信 - 孫帝 5月 以下という異似 - 2019年19月2日 東大原生 地小電信 - 3 第2 5月 以下という異似 - 2019年19月2日 - 2019年19月2日 - 2019年19月2日 - 2019年19月1日 - 2019年19日1日 - 2019年19月1日 - 2019年19月1日 - 2019年19月1日 - 2019年19月1日 - 2019年19日1日 - 2		
2019年10月21日		
2019年10月21日		
2019年10月16日   京小田   比したい10月31日   の辞録 - 次に応ごるととは一本   水平田   大阪東の政策を受けが資金の一番   大阪の東の大阪東の対策を受ける   大阪の東の東の大阪東の対策を受ける   大阪の東の東の大阪東の対策を受ける   大阪の東の東の大阪東の大阪東の大阪東の大阪		
2019年10月1日	2019年10月21日	
2019年10月18日   PROD'TBBL A を受けて、能しかった。する義主、		
2019年10月11日   現長版(COR放復理學を設すで、製品的知の終力が、選挙要旨としては秀逸・) 2019年10月9日   日相様のの影響機に入りに、回じたり。 2019年10月9日   日根後のの影響機に入りに、回じたり。 2019年10月9日   田代後のの影響をから整め場へのグロスチャート 2019年10月7日   現実版、製造機力を影響をある。との表とはあるとのから、854県気用数の悪化を受けて・) 2019年10月7日   現実版、製造機力を影響をある。との表とはあるとのから、854県気用数の悪化を受けて・) 2019年10月2日   現実版、国産協立の上が「クロストリート」 2019年10月2日   現実版 日本と動政策は全途を受けて、フリカリのも日報の製造技术 2019年10月2日   現ま版、国産協立会・2019年10月2日   日本の人の財産の対象と対象を表がしています。 2019年10月3日   日本の人の財産の対象と対象を表がしています。 2019年10月3日   日本の人の財産の対象と対象を表がしています。 2019年10月3日   日本の人の財産の対象と対象と表がしています。 2019年10月3日   日本の人の財産の対象と対象と表がしています。 2019年10月3日   日本の人の財産の対象と対象と表がしています。 2019年10月3日   日本の人の財産の対象を対すしています。 2019年10月3日   日本の人の財産・2019年10月3日		
2019年10月8日   門地域の新沙球県について、編の均衡 - 2019年10月8日   門地域の新沙球県について、編の均衡 - 2019年10月8日   Respirate Mac Joy 27 mg - 3019年10月7日   2019年10月7日   20		
2019年10月3日   FREOの資産機入機関と使力しのソロスチャー		
2019年10月9日 据5(リアラ計画・初のシバー・展送表配度受けて・) 2019年10月9日 米月庫保険計を受けて・19 とより悪く以上の応うさ 2019年10月3日 東族 接端差別・企業 野道産への造及は対まったのか・1894 京積数の悪化を受けて・) 2019年10月3日 フェー国際の時間発の現状を記しまったのか・1894 京積数の悪化を受けて・) 2019年3月2日 (選集後・正産品とこた ドイツのあ、・ラウテンコレーガーECS理事群任の読み方・) 2019年3月2日 (選集後・正産品とこた ドイツのあ、・ラウテンコレーガーECS理事群任の読み方・) 2019年3月2日 (選集後・正産品とこた ドイツのあ、・ラウテンコレーガーECS理事群任の読み方・) 2019年3月2日 (選集後・正産品とこた ドイツのよ・ラウテンコレーガーECS理事群任の読み方・) 2019年3月2日 (対象があり、日本の・1894 では、日本の・2019年3月2日 (対象がありまた) (対象があ		
2019年10月7日 ※9月雇用除計を到けて、「思した」の悪くない。の色さ - 2019年10月3日		
2019年10月3日 3 上の間の傾情勢の現状で配き、日本の公園とは始まったのか・ISA模式目後の悪化を受けて一) 2019年10月2日 1 日東京   日本のの場合性勢の現状で配き、日本の公園とは発えそか? 2019年10月2日   日東京   国東京   国東京   国政政会   こうアナンコレーガーECB理事辞任の読み方 - ) 2019年9月2日   日東以スクの点性。 記録政会 (1.17ア.27 プイドリスク - ) 2019年9月2日   日東京   日東以スクの点性・配数政会 (1.17ア.27 プイドリスク - ) 2019年9月2日   日東京   日東京		
2019年10月3日 ユーロ画の作価情勢の現状と展望・日本化の過速期? 2019年10月3日 ISNR軌道業券及打放ので、18人の大き、19		
2019年9月2日		
2019年9月26日 円安リスクの成後・財政政策というアップサイドリスク - 2019年9月26日	2019年10月2日	ISM製造業景気指数の「底」は見えそうか?
2019年9月29日	2019年9月27日	
# 本部個人投資家の対外資金プロー		
2019年9月24日	2019年9月25日	
2019年9月10日   表本版   日米金融政策決定会合を製作で - 9月乗り切るも日級の顧問は続く - ) 2019年9月11日   振進馬   区の政策理事会レビュー 山屋 (人 機を強ま が17ケージ練和 - ) 2019年9月10日   3世末版   区の政策理事会レビュー 山屋 (人 機を強ま が17ケージ練和 - ) 2019年9月10日   3世末版   区の政策理事会レビュー 山屋 (人 機を強ま が17ケージ練和 - ) 2019年9月10日   3世末版   区の政策理事会レビュー - 10甲目間   1月間   3世末版   1日間   3世末成   1日間	2040年0日24日	
2019年9月17日   湯油高トP安,が重荷になる日本終済 2019年9月11日   対象イメージが変わらない日の基礎的無法環境 2019年9月11日   対象イメージが変わらない日の基礎的無法環境 2019年9月1日   対象イメージが変わらない日の基礎的無法環境 2019年9月1日   対象イメージが変わらない日の基礎的無法環境 2019年9月1日   対象イメージの変わらない日の基礎的無法環境 2019年9月1日   大が多り・総名協法監察・ボンドドルレは120割れ変勢・ 2019年9月2日   大が多り・総名協法監察・ボンドドルレは120割れ変勢・ 2019年9月2日   ガスない状質のドルボリバ・対象派といて、諸辺の刺・ 2019年9月2日   対えない状質のドルボリバ・対象派といて、諸辺の刺・ 2019年9月2日   カスない状質のドルボリバ・対象派といて、諸辺の刺・ 2019年8月27日   内受リスクの点検・製成すべきトランブ規模3第一 2019年8月27日   内受リスクの対象を受けて、「釧路、の誘惑、日銀の経験・ 2019年8月27日   大がのいバランスは底室のありのが表現していた。で、日本のは19年8月1日   ドイツのバグラスは底室をあるのか。 2019年8月21日   ドイツのバグラスは底室をあるのか。 2019年8月21日   ドイツのドグラスは底であるかのか。 2019年8月16日   現本版(2019年1日   ドイツのドグランスは底でありまままままままままままままままままままままままままままままままままままま		
2019年9月10日		
2019年9月11日 日報会グレビュー9月の手科町170万方 2019年9月6日 選末版(G2改政理事会プレビュー9月8年)170万方 2019年9月6日 選末版(G2改政理事会プレビュー9月8月12日の行力 2019年9月4日 米企業心理とドル担場の関係・180番化を受けて- 2019年9月4日 米企業心理とドル担場の関係・180番化を受けて- 2019年9月2日		週末版(ECB政策理事会レビュー~出尽くし懸念強まるパッケージ緩和~)
2019年9月6日   週末版 (ECB政策理事会プレビュー - APP 開間は開催だが、露払いはしたいところ - )	2019年9月11日	
2019年9月3日	2019年9月10日	
2019年9月4日   米企業心理とドルドロ場の所は、SNISE化を受けて- 2019年9月2日   別えない米国のドル赤リ介入観測について一緒刀の剣- 2019年9月2日   別えない米国のドル赤リ介入観測について一緒刀の剣- 2019年8月29日   ユーロ側投資ファンド統計に見るボートフォリナリバランス効果   2019年8月29日   ユーロ側投資ファンド統計に見るボートフォリナリバランス効果   2019年8月27日   円安リスクの点検・量減すべきトランブ減税第二弾・ 2019年8月27日   円安リスクの点検・量減すべきトランブ減税第二弾・ 2019年8月21日   同路・ドル底といり地色は、サービー・ 2019年8月21日   河路・ドル底といり地色は、サービー・ 2019年8月21日   河路・ドル底といり地色は、日本のインター・ 2019年8月21日   阿水田・伊藤美国を受けて、9月のパッケージ緩和が濃厚に? - ) 2019年8月21日   ドグルの第ペランスは速に変わるのか? 2019年8月1日   イツの「メランスは速に変わるのか? 2019年8月1日   北タ東宮の対力が構造プロー動向(2019年7月分) 2019年8月1日   北タに引きずられるユーロ側接済 2019年8月1日   北タに引きずられるユーロ側接済 2019年8月1日   北タに引きずられるユーロ側接済 2019年8月1日   北タによる引き締め効果・利上げ17回分? - 2019年8月1日   北京と渡したよる引き締め効果・利上げ17回分? - 2019年8月1日   北京と渡したよりによる引き締め効果・利上げ17回分? - 2019年8月1日   北京と渡したよりによる引き締め効果・利上げ17回分? - 2019年9月1日   北京と渡したよりによる引き締め効果・利上げ17回分? - 2019年9月3日   北京と渡したよりによる引き締め効果・利上げ17回分? - 2019年9月3日   北京と渡したよりによる引き締め効果・利上げ17回分? - 2019年9月3日   北京と渡したよりによる引き締めの果ましたが大りエル連携のよりによりによる引き締めが果まりによる引き締めが果まりによる引き締めの果まりによる引き締めが果まりによる引き締めが果まりによる引き締めが果まりによりに対していまりによりによりによりによる引き締りによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりにより		
2019年9月3日   カスは   ドラスを含質とした   トリン 3 講演 - 不安はどこに ~ 2019年9月30日   選末版   2019年9月30日   選末版   2019年9月30日   選末版   2019年9月20日   ユーロ圏投資ファンド統計に見るボートフォリナリバランス効果   2019年9月26日   円高・ドレ高といり地合い - 105円割れる受けて ~ 2019年9月27日   円元・ドレ高といり地合い - 105円割れる受けて ~ 2019年9月27日   日東リスクの点検 - 2019年9月27日   日東リスクリスクリスクリスクリスクリスクリスクリスクリスクリスクリスクリスクリスクリ		
2019年9月2日   満太な1×   国のドル売り介入観測について - 「		
2019年8月30日   退水版		
2019年8月29日 ユーロ圏投資ファンド統計に見るボートフォリオリバランス効果 2019年8月26日 円高・ドル高という地合い - 105円割れを受けて - 2019年8月26日 円高・ドル高という地合い - 105円割れを受けて - 2019年8月27日 円の16歳事要旨を受けて - 19種 の2019年9月27日 FOM 協議事要旨を受けて - 19種 の3 の3 認恵 日銀の経験 - 2019年9月21日 FOM 協議事要旨を受けて - 19種 の3 認恵 日銀の経験 - 2019年9月21日 FOM 成議事要旨を受けて - 19種 の3 認恵 日銀の経験 - 2019年9月21日 FY 2018パランスは遂に変わるのか? 2019年9月19日		
2019年8月27日   円安リスクの点検・署成すべきトランプ減税第二環 - 2019年8月28日   円高ドル高という地合しい - 105円割れを受けて - 2019年9月23日   別本版。ECB政策理事を議事要旨を受けて - 9月のパッケージ緩和が濃厚に ? - )		
四高・ドル高という地合い - 105円割れを受けて - 2019年8月23日   国家版 (ECB版 理事金論事更言を受けて - 9月のパッケージ線和が濃厚に ? - )   2019年8月22日		
2019年8月22日   FOMC議事要旨を受けて「調整」の誘惑、日銀の経験 - 2019年8月20日   本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2019年7月分)	2019年8月26日	円高・ドル高という地合い~105円割れを受けて~
2019年8月21日   ドイツのISI/ブランスは遂に変わるのか?   2019年8月19日   YCC, 信でる日銀と持うECB   2019年8月19日   YCC, 信でる日銀と持うECB   2019年8月19日   YCC, 信でる日銀と持うECB   2019年8月15日   ドイツに引きずられるコーロ報送済   2019年8月15日   ドイツに引きずられるコーロ報送済   2019年8月16日   中国の「次の一手」として米国債売却はあるのか?   2019年8月18日   ドイツに引きずられるコーロ報送済   中国の「次の一手」として米国債売却はあるのか?   2019年8月18日   連末版   2019年8月18日   連末版   2019年8月18日   連末版   2019年8月18日   連末版   2019年8月18日   連末版   2019年8月18日   2019年7月18日   2019年7月31日   日銀金融政策決定会会 - 流行リの「予防的緩和」 - 2019年7月31日   日銀金融政策決定会会 - 流行リの「予防的緩和」 - 2019年7月31日   日銀金融政策決定会会 - 流行リの「予防的緩和」 - 2019年7月31日   1919年7月31日   1919年7月31日   1919年7月31日   1919年7月31日   1919年7月31日   1919年7月31日   2019年7月31日   31末版   2019年7月19日   本本が個人投資家の対外資金フロー動向」2019年6月分   2019年7月19日   2019年7月18日   本家計部門の金融リテラシーは低いのか?   2019年7月18日   2019年7月18日   2019年7月18日   2019年7月18日   2019年7月18日   2019年7月18日   2019年7月3日   日銀玉版 2019年7月3日   日本版 2019年7月3日   日銀玉版 2019年7月3日   日本版 2019年7月3日   日本版 2019年7月3日   日銀田版 2019年7月3日   日本版 2019年7月3日   日銀玉版 2019年7月3日   日本版 2019年7月3日   日本版 2019年7月3日   日本版 2019年7月3日   日銀玉版 2019年7月3日   日本版		
2019年8月20日   本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2019年7月分)   2019年8月16日   別未版(2019年上半期の対米証券投資について ~ 下期以降の景色は大分変わりそう~)   2019年8月16日   日本の「次の一手、として米国優所和はあるのか?   2019年8月14日 中国の「次の一手、として米国優所和はあるのか?   2019年8月3日   ドル高止まりによる引き締め効果 ~ 利上げ17回分? - 2019年8月9日   週末版   2019年8月6日   遠下映   2019年8月6日   遠下映   2019年8月6日   遠下映   2019年8月6日   遠下映   2019年8月1日   米7月雇用統計を受けて - 趨勢的な鍵化は明らか ~ 2019年8月1日   日銀金融政策決定会合 - 流行りの「予防的銀利」 ~ 2019年7月31日 日銀金融政策決定会合 - 流行りの「予防的銀利」 ~ 2019年7月31日 日銀金融政策決定会合 - 流行りの「予防的銀利」 ~ 2019年7月31日 日銀金融政策決定会合 - 流行りの「予防的銀利」 ~ 2019年7月30日 円安リスタの点体 - 英の馬国民投棄復活などがリスタ ~ 2019年7月30日 円安リスタの点体 - 英の馬国投棄復活などがリスタ ~ 2019年7月28日   週末版   2019年7月28日   週末版   2019年7月28日   河ナンと金融政策 - 新興国と信用創造に対する影響 ~ 2019年7月18日   本邦(人)日譲まの対外資金フコー動向(2019年6月分)   2019年7月18日   本邦家計部門の金融リテラシーは低いのか - 2019年7月18日   本邦家計部門の金融リテラシーは低いのか - 2019年7月18日   欧米貿易摩擦こと正当な貿易摩擦という考え方   2019年7月18日   成本版   2019年7月18日   国末版   2019年7月18日   国末版   2019年7月18日   国末版   2019年7月18日   国末版   2019年7月18日   日銀短観の読み方 - 「底入れ」は確認できず ~ 2019年7月28日   国来版   2019年7月28日   国東版   2019年7月28日   国東   2019年7月28日   国東   2019年7月28日   国東   2019年7月28日   国東   2019年7月28日   国東   2019年7月3日   フリスクの点体 - 大統領選前にトランブは動くか - 2019年6月28日   フリストラストランドルドウストラストラストラストラストラストラストラストラストラストラストラストラストラス		
2019年8月19日 VCC、捨てる日銀と拾うECB 2019年8月16日 週末版(2019年上期の対米証券投資について - 下期以降の景色は大分変わりそう - ) 2019年8月16日		
2019年8月16日   週末版 (2019年上半期の対米証券投資について ~ 下期以降の景色は大分変わりそう~)   2019年8月14日   ドイツに引きずられるユーロ圏経済   2019年8月14日   中国の「次の一手」として米国債売却はあるのか?   2019年8月19日   ドル高止まりによる引き締め効果、利上げ17回分? ~ 2019年8月9日   選応突破した「1ドル=70元」 ~ 対抗措置としての元安 ~ 2019年8月6日   遂に突破した「1ドル=70元」 ~ 対抗措置としての元安 ~ 2019年8月19日   米7月雇用統計を受けて ~ 超勢的な蛇化は明らか ~ 2019年8月1日   FOMCを終えて ~ 「1歩線れば100歩求める」 ~ 2019年8月1日   FOMCを終えて ~ 「1歩線れば100歩求める」 ~ 2019年7月31日   日銀金融政策決定会会 ~ 流行りの「予防的緩和」 ~ 2019年7月31日   日銀金融政策決定会会 ~ 流行りの「予防的緩和」 ~ 2019年7月39日   ECB政策理事会レビュ ~ 見どこるの整理 ~ 2019年7月29日   とび19年7月29日   Uブラと金融政策 ~ 新興国と信用創造に対する影響 ~ 2019年7月26日   リブラと金融政策 - 新興国と信用創造に対する影響 ~ 2019年7月26日   リブラと金融政策 - 新興国と信用創造に対する影響 ~ 2019年7月26日   図末版   2019年7月26日   図末版   2019年7月26日   図末版   2019年7月19日   2019年7月19日   本邦家計部門の金融リテラシーは低いのか? 2019年7月19日   欧米貿易摩擦・乙正当な貿易摩擦という考え方   2019年7月19日   図末版   2019年7月19日   日銀短観の読み方・「成入れ」は確認できず ~ 2019年7月19日   日銀短観の読み方・「成入れ」は確認できず ~ 2019年7月19日   日銀石製を駆動するのは株価ではなく金利 ~ 2019年7月2日   日銀石製の読み方・「成入れ」は確認できず ~ 2019年7月1日   日銀石製の読み方・「成入れ」は確認できず ~ 2019年7月2日   日銀石製の読み方・「成入れ」は確認できず ~ 2019年7月1日   対示技術をより、「2019年6月2日   図末版   2019年7月1日   日銀石製の読み方・「成入れ」は確認できず ~ 2019年6月2日   図末版   14年2日   2019年6月2日   図末版   2019年7月1日   2019年7月1日   日銀石製の読み方・「成入れ」は確認できず ~ 2019年6月2日   図末版   2019年7月1日   2019年7月1日   日銀石製の読み方・「成入れ」は確認できず ~ 2019年7月2日   日銀石製の読み方・「成入れ」は確認できず ~ 2019年7月3日   7ガルドに日報の読み方・「成入れ」は確認できず ~ 2019年7月3日   7ガルドに日報の読み方・「成入れ」は確認できず ~ 2019年7月3日   7ガルドに日報の開入に日本のよりに対するよりに対		
2019年8月15日 ドイツに引きずられるコーロ関経済 2019年8月13日 中国の「次の一手」として米国債売却はあるのか? 2019年8月13日 ドル高止まりによる引き締め効果・利上げ17回分?~ 2019年8月9日 週末版 2019年8月6日 遂に突破した「1ドルー70元」・対抗措置としての元安~ 2019年8月5日 米7月雇用統計を受けて・超勢的な鈍化は明らか~ 2019年8月2日 週末版(何の意味もなかったパウェル議長の失言・トランプ関税とインフレ停滞も利下げの理由に~) 2019年8月1日 日銀金融政策決定会合・流行りの「予防的緩和」~ 2019年7月31日 日銀金融政策決定会合・流行りの「予防的緩和」~ 2019年7月30日 円安リスクの点検~英の再国民投票復活などがリスク~ 2019年7月29日 医砂球理事会レビュー・見どこの整理~ 2019年7月26日 週末版 2019年7月26日 リプラと金融政策・新興国と信用創造に対する影響~ 2019年7月26日 リプラと金融政策・新興国と信用創造に対する影響~ 2019年7月28日 との政策理事会レビュー・「日報会職の現状が資金プロー動向」(2019年6月分) 2019年7月28日 にの政策理事会プレビュー・「日報見直」は大事業~ 2019年7月19日 週末版(実領実效為整督場の現状と展望~「ドルは過大評価を受けて~) 2019年7月19日 本邦家計部門の金融リテラシーは低いのか? 2019年7月16日 株価を見なくなったドル/円相場と追い込まれる日銀 2019年7月16日 大価を見なくなったドル/円相場と追い込まれる日銀 2019年7月17日 週末版 2019年7月18日 ヨ末版 2019年7月3日 可以及りの点検・大統領選前にトランプは動(か) 2019年7月3日 可以及りの点検・大統領選前にトランプは動(か)~ 2019年7月3日 可以及りの点検・大統領選前にトランプは動(か)~ 2019年7月3日 可以及りの点検・大統領選前にトランプは動(か)~ 2019年7月3日 可以及りの点検・大統領選前にトランプは動(か)~ 2019年6月28日 対外資産・負債残高の近況~今和で経験する大きな変化~ 2019年6月28日 対外資産・負債残高の近況~今和で経験する大きな変化~ 2019年6月26日 対外資産・負債残高の近況~今年で経験する大きな変化~ 2019年6月26日 対外資産・負債残高の近況~今年で経験する大きな変化~ 2019年6月26日 利下げ期待とドル/円相場の関係~「多年型和下げ」としても~ 2019年6月26日 利下げ期待とドル/円相場の関係~「多年型和下げ」としても~ 2019年6月21日 週末版(日銀本融政策決定を会を終えて~「ドル高の修正」という大きな潮流~)		
2019年8月14日   中国の「次の一手」として米国債売却はあるのか?		
2019年8月13日   ドル高止まりによる引き締め効果 ~ 利上げ17回分? ~ 2019年8月6日   週末版   ②に突破した「ドルー7.0元」 - 対抗措置としての元安 ~ 2019年8月5日   迷に突破した「ドルー7.0元」 - 対抗措置としての元安 ~ 2019年8月5日   米7月雇用統計を受けて ~ 趨勢的な鈍化は明らか ~ 2019年8月1日   週末版 (何の意味もなかったパウエル議長の失言 ~ トランプ関税とインフレ停滞も利下げの理由に ~ )		
2019年8月9日   週末版   2019年8月9日   遂に突破した「1ドル=7.0元」 - 対抗措置としての元安 ~ 2019年8月9日   遂に突破した「1ドル=7.0元」 - 対抗措置としての元安 ~ 2019年8月1日   辺未版 (何の意味もなかったパウエル議長の失言 ~ トランブ開税とインフレ停滞も利下げの理由に ~ )   2019年7月31日   日銀金融政策決会会 ~ 流行りの「予防的緩和」 ~   2019年7月31日   日銀金融政策決会会 ~ 流行りの「予防的緩和」 ~   2019年7月30日   円安リスクの点検 ~ 英の再国民投票復活などがリスク ~   2019年7月29日   日銀金融政策連事会レビュー ~ 見どころの整理 ~   2019年7月26日   辺末版 ( 2019年7月26日   リブラと金融政策 ~ 新興国と信用創造に対する影響 ~   2019年7月26日   リブラと金融政策 ~ 新興国と信用創造に対する影響 ~   2019年7月26日   リブラと金融政策 ~ 新興国と信用創造に対する影響 ~   2019年7月26日   国末版 ( 2019年7月26日   国末版( 2019年7月27日   本邦個人投資家の対外資金フロー動向( 2019年6月分)   2019年7月19日   週末版( 実質案対為替相場の現状と展望 ~ 「ドルは過大評価」とのIMF評価を受けて ~ )   2019年7月18日   本邦家計部門の金融リララン・は低いのか ?   2019年7月18日   欧米貿易摩擦という考え方   2019年7月16日   地本版 2019年7月16日   地本版 2019年7月3日   週末版 2019年7月3日   日銀短観の読み方 ~ 「底入れ」は確認できず ~   2019年7月3日   日銀短載の読み方 ~ 「底入れ」は確認できず ~   2019年7月3日   日東短載の読み方 ~ 「底入れ」は確認できず ~   2019年7月3日   日東短報の表方 ~ 「底入れ」は確認できず ~   2019年7月3日   日東短報の表方 ~ 「底入れ」は確認できず ~   2019年7月3日   日東五版 日銀金融方策決定会会を終えて ~ 「下川市の修正」という大きな潮流 ~ )   日東末版 日銀金融政策決定会会を終えて ~ 「下川市の修正」という大きな潮流 ~ )   日東末版 日報金融政策決定会会を終えて ~ 「下川市の修正」という大きな潮流 ~ )		
2019年8月5日   米7月雇用統計を受けて、趨勢的な鈍化は明5か~   2019年8月2日   週末版 (何の意味もなかったパウエル議長の失言・トランプ関税とインフレ停滞も利下げの理由に~)   2019年8月3日   FOMCを終えて~15歳れば100歩求める。~   2019年7月31日   日銀金融政策決定会合・流行10の「予防的緩和」~   2019年7月30日   円安リスクの点検~英の再国民投票復活などがリスク~   2019年7月28日   図末版   2019年7月28日   図末版   2019年7月28日   図末版   2019年7月28日   リプラと金融政策 ~ 新興国と信用創造に対する影響 ~   2019年7月28日   リプラと金融政策 ~ 新興国と信用創造に対する影響 ~   2019年7月28日   リプラと金融政策 ~ 新興国と信用創造に対する影響 ~   2019年7月28日   区の政策理事会プレビュー~「目標見直」」は大事業 ~   2019年7月28日   週末版(実質実効為替相場の現状と展望~「ドルは過大評価」とのIMF評価を受けて~)   2019年7月18日   本邦家計部門の金融リテラシーは低いのか?   2019年7月18日   本邦家計部門の金融リテラシーは低いのか?   2019年7月18日   欧米貿易摩擦こそ正当な貿易摩擦という考え方   2019年7月18日   週末版   2019年7月18日   週末版   2019年7月19日   週末版   2019年7月19日   週末版   2019年7月19日   週末版   2019年7月19日   月末版   2019年7月19日   日銀短観の読み方~「底入れ」は確認できず~   2019年7月2日   日銀短観の読み方~「底入れ」は確認できず~   2019年7月3日   子がレドECB総裁就任の読み方   2019年7月3日   日銀短観の読み方~「底入れ」は確認できず~   2019年6月28日   月末版   2019年6月28日   円安リスクの点検~大統領選前にトランプは動くか~   2019年6月28日   円安リスクの点検~大統領選前にトランプは動くか~   2019年6月28日   列水資産・負債残高の近況~ 令和で経験する大きな変化~   2019年6月26日   列下げ期待とドル/円相場の関係・798年型利下げ」としても~   2019年6月21日   週末版   日銀金融政策決定会合を終えて~「ドル高の修正」という大きな潮流~   2019年6月21日   週末版   日銀金融政策決定会合を終えて~「ドル高の修正」という大きな潮流~   2019年6月21日   週末版   日銀金融政策決定会合を終えて~「ドル高の修正」という大きな潮流~   2019年6月21日   週末版   回録金融政策決定会合を終えて~「ドル高の修正」という大きな潮流~   2019年6月21日   週末版   回録金融政策決定会合を終えて~「ドル高の修正」という大きな潮流~   2019年6月21日   週末版   回録金融政策決定会合を終えて~「ドル高の修正」という大きな潮流~   2019年6月21日   週末版   回録金融政策決定会合を終えて~「ドル高の修正」という大きな利益を持続する。   2019年6月21日   週末版   回録金融政策決定会合を終えて~「ドル高の修正」という大きな利益を持続する。   2019年6月21日   2019年6月21日   週末版   回録金融政策決定会合を終えて~「ドル高の修正」というないるにはいるようにはいるよ	2019年8月9日	週末版
2019年8月1日   週末版(何の意味もなかったパウエル議長の失言・トランブ関税とインフレ停滞も利下げの理由に~)		
2019年7月31日 日銀金融政策決定会合 - 流行リの「予防的緩和」 - 2019年7月30日 円安リスクの点検 - 英の再国民投票復活などがリスケー 2019年7月29日 ECB政策理事会レビュー - 見どころの整理 - 2019年7月26日 週末版 2019年7月26日 週末版 2019年7月26日 週末版 2019年7月26日 1月75と金融政策 - 新興国と信用創造に対する影響 - 2019年7月26日 2019年7月26日 2019年7月26日 2019年7月26日 2019年7月26日 2019年7月27日   河ブと金融政策 - 新興国と信用創造に対する影響 - 2019年7月28日 全球事会プレビュー - 「目標見直し」は大事業 - 2019年7月28日   三田東広(実質実効為替相場の現状と展望 - 「ドルは過大評価」とのIMF評価を受けて - ) 2019年7月18日 本邦家計部門の金融リテラシーは低いのか? 2019年7月17日 欧米貿易摩擦という考え方 2019年7月17日 欧米貿易摩擦とでご当な貿易摩擦という考え方 2019年7月16日 株価を見なくなったドル/円相場と追い込まれる日銀 2019年7月16日 排価を見なくなったドル/円相場と追い込まれる日銀 2019年7月3日 ラガルドECB総裁就任の読み方 - 「底入れ」は確認できず - 2019年7月3日 ラガルドECB総裁就任の読み方 2019年7月1日 大阪(2020年2月3日 フガルドECB総裁就任の読み方 2019年7月2日 日銀短観の読み方 - 「底入れ」は確認できず - 2019年7月1日 大阪(2020年2月3日 フガル・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア		
2019年7月31日 日銀金融政策決定会合 ~ 流行リの ' 予防的緩和」 ~ 2019年7月30日 円安リスクの点検 ~ 英の再国民投票復活などがリスク ~ 2019年7月28日   にB政策理事会レビュー ~ 見どころの整理 ~ 2019年7月26日   週末版   週末版   週末版   2019年7月26日   月下げに囲まれる日銀」と '通貨政策化が進む世界」		The state of the s
2019年7月30日   円安リスクの点検 ~ 英の再国民投票復活などがリスク ~ 2019年7月29日   ECB政策理事会レビュー ~ 見どころの整理 ~ 2019年7月26日   週末版   辺が中7月25日   リブラと金融政策 ~ 新興国と信用創造に対する影響 ~ 2019年7月24日 「利下げに囲まれる日銀」と「通貨政策化が進む世界」		
2019年7月29日   ECB政策理事会レビュー~見どころの整理 ~ 2019年7月26日   週末版   2019年7月25日   リブラと金融政策 ~ 新興国と信用創造に対する影響 ~ 2019年7月24日   「利下げに囲まれる日銀」と「通貨政策化が進む世界」		
2019年7月26日   週末版   2019年7月25日   リブラと金融政策 ~ 新興国と信用創造に対する影響 ~ 2019年7月26日   リブラと金融政策 ~ 新興国と信用創造に対する影響 ~ 2019年7月22日   「利下げに囲まれる日銀」と「通貨政策化が進む世界」		
2019年7月25日		
2019年7月24日		
2019年7月12日   ECB政策理事会ブレビュー~「目標見直し」は大事業~   2019年7月19日   週末版(実質実効為替相場の現状と展望~「ドルは過大評価」とのIMF評価を受けて~)   2019年7月18日   本邦家計部門の金融リテラシーは低いのか?   2019年7月17日   欧米貿易摩擦こそ正当な貿易摩擦という考え方   2019年7月16日   株価を見なくなったドル/円相場と追い込まれる日銀   2019年7月12日   週末版   2019年7月3日   週末版   2019年7月3日   ラガルドECB総裁就任の読み方   2019年7月3日   ラガルドECB総裁就任の読み方   2019年7月2日   日銀短観の読み方~「底入れ」は確認できず~   2019年7月1日   大阪G20を終えて~円相場を駆動するのは株価ではなく金利~   2019年6月28日   週末版   2019年6月26日   円安リスクの点検~大統領選前にトランブは動くか~   2019年6月26日   列下リ済を上り上の一角化・回転機験する大きな変化~   2019年6月24日   利下げ期待とドル/円相場の関係~「98年型利下げ」としても~   2019年6月24日   週末版(日銀金融政策決定会合を終えて~「ドル高の修正」という大きな潮流~)	2019年7月24日	「利下げに囲まれる日銀」と「通貨政策化が進む世界」
2019年7月19日   週末版(実質実効為替相場の現状と展望~「ドルは過大評価」とのIMF評価を受けて~)   2019年7月18日   本邦家計部門の金融リテラシーは低いのか?   2019年7月17日   欧米貿易摩擦こそ正当な貿易摩擦という考え方   2019年7月16日   株価を見なくなったドル/円相場と追い込まれる日銀   2019年7月12日   週末版   2019年7月18日   ラガルドECB総裁就任の読み方   2019年7月2日   日銀短観の読み方~「底入れ」は確認できず~   2019年7月2日   日銀短観の読み方~「成入れ」は確認できず~   2019年7月1日   大阪G20を終えて~円相場を駆動するのは株価ではなく金利~   2019年6月28日   週末版   2019年6月26日   円安リスクの点検~大統領選前にトランプは動くか~   2019年6月26日   列ナリア・大統領選前にトランプは動くか~   2019年6月26日   列ナリア・大統領選前にトランプは動くか~   2019年6月27日   利下げ期待とドル/一和場の関係~「98年型利下げ」としても~   2019年6月27日   週末版(日銀金融政策決定会合を終えて~「ドル高の修正」という大きな潮流~)		
2019年7月18日 本邦家計部門の金融リテラシーは低いのか?   2019年7月17日 欧米貿易摩擦こそ正当な貿易摩擦という考え方   2019年7月16日   株価を見なくなったドル/円相場と追い込まれる日銀   2019年7月12日   週末版   2019年7月3日   ラガルドECB総裁就任の読み方   2019年7月2日   日銀短観の読み方 - 「底入れ」は確認できず ~ 2019年7月2日   日銀短観の読み方 - 「底入れ」は確認できず ~ 2019年7月1日   大阪G20を終えて ~ 円相場を駆動するのは株価ではなく金利 ~ 2019年6月28日   週末版   2019年6月28日   週末版   2019年6月26日   円安リスクの点検 ~ 大統領選前にトランプは動くか ~ 2019年6月26日   円安リスクの点検 ~ 大統領選前にトランプは動くか ~ 2019年6月27日   対外資産・負債残高の近況 ~ 令和で経験する大きな変化 ~ 2019年6月24日   利下げ期待とドル/一和場の関係 ~ 「98年型利下げ」としても ~ 2019年6月21日   週末版(日銀金融政策決定会合を終えて ~ 「ドル高の修正」という大きな潮流 ~ )		
2019年7月17日 欧米貿易摩擦こそ正当な貿易摩擦という考え方 2019年7月16日 株価を見なくなったドル/円相場と追い込まれる日銀 2019年7月12日 週末版 2019年7月5日 週末版 2019年7月3日 ラガルドECB総裁就任の読み方 2019年7月2日 日銀短観の読み方。「底入れ」は確認できず~ 2019年7月1日 大阪G20を終えて~円相場を駆動するのは株価ではなく金利~ 2019年6月28日 週末版 2019年6月26日 円安リスクの点検~大統領選前にトランプは動くか~ 2019年6月26日 対外資産・負債残高の近況~令和で経験する大きな変化~ 2019年6月24日 利下げ期待とドル/円相場の関係~「98年型利下げ」としても~ 2019年6月21日 週末版 回表金融政策決定会合を終えて~「ドル高の修正」という大きな潮流~)		
2019年7月16日   株価を見なくなったドル/円相場と追い込まれる日銀   2019年7月12日   週末版   2019年7月15日   週末版   2019年7月3日   ラガルドECB総裁就任の読み方   2019年7月2日   日銀短観の読み方~「底入れ」は確認できず~   2019年7月1日   大阪公20を終えて~円相場を駆動するのは株価ではなく金利~   2019年6月28日   週末版   2019年6月26日   円安リスクの点検~大統領選前にトランプは動くか~   2019年6月26日   対外資産・負債残高の近況~令和で経験する大きな変化~   2019年6月24日   利下げ期待とドル/円相場の関係~「98年型利下げ」としても~   2019年6月24日   週末版   日銀金融政策決定会合を終えて~「ドル高の修正」という大きな潮流~ )		
2019年7月12日   週末版   2019年7月3日   週末版   2019年7月3日   週末版   2019年7月3日   ラガルドECB総裁就任の読み方   2019年7月3日   日銀短観の読み方~「底入れ」は確認できず~   2019年7月1日   大阪G202を終えて~円相場を駆動するのは株価ではな〈金利~   2019年6月28日   週末版   2019年6月26日   円安リスクの点検~大統領選前にトランプは動〈か~   2019年6月26日   対外資産・負債残高の近況~令和で経験する大きな変化~   2019年6月24日   利下げ期待とドル/円相場の関係~「98年型利下げ」としても~   2019年6月24日   週末版(日銀金融政策決定会合を終えて~「ドル高の修正」という大きな潮流~)		
2019年7月5日 週末版 2019年7月3日 ラガルドECB総裁就任の読み方 2019年7月2日 日銀短観の読み方~「底入れ」は確認できず~ 2019年7月1日 大阪G20を終えて~円相場を駆動するのは株価ではな〈金利~ 2019年6月28日 週末版 2019年6月26日 円安リスクの点検~大統領選前にトランプは動〈か~ 2019年6月26日 対外資産・負債残高の近況~令和で経験する大きな変化~ 2019年6月27日 対外資産・負債残高の近況~令和で経験する大きな変化~ 2019年6月24日 利下げ期待とドル/「和場の関係~「98年型利下げ、としても~ 2019年6月21日 週末版(日銀金融政策決定会合を終えて~「ドル高の修正」という大きな潮流~)		
2019年7月3日 ラガルドECB総裁就任の読み方 2019年7月2日 日銀短観の読み方。「底入れ」は確認できず~ 2019年7月1日 大阪G20を終えて~円相場を駆動するのは株価ではな〈金利~ 2019年6月28日 週末版 2019年6月26日 円安リスクの点検~大統領選前にトランプは動〈か~ 2019年6月26日 対外資産・負債残高の近況~令和で経験する大きな変化~ 2019年6月24日 利下げ期待とドル/円相場の関係~「98年型利下げ」としても~ 2019年6月24日 週末版(日銀金融政策決定会合を終えて~「ドル高の修正」という大きな潮流~)		
2019年7月2日 日銀短観の読み方~「底入れ」は確認できず~ 2019年7月1日 大阪G20を終えて~円相場を駆動するのは株価ではな〈金利~ 2019年6月28日 週末版 2019年6月26日 円安リスクの点検~大統領選前にトランプは動〈か~ 2019年6月25日 対外資産・負債残高の近況~令和で経験する大きな変化~ 2019年6月24日 利下げ期待とドル/円相場の関係~「98年型利下げ」としても~ 2019年6月21日 週末版(日銀金融政策決定会合を終えて~「ドル高の修正」という大きな潮流~)		
2019年6月28日 週末版 2019年6月26日 円安リスクの点検 ~ 大統領選前にトランブは動くか ~ 2019年6月25日 対外資産・負債残高の近況 ~ 令和で経験する大きな変化 ~ 2019年6月24日 利下げ期待とドル/ 「和場の関係 ~ 「98年型利下げ」としても ~ 2019年6月24日 週末版(日銀金融政策決定会合を終えて ~ 「ドル高の修正」という大きな潮流 ~ )	2019年7月2日	日銀短観の読み方~「底入れ」は確認できず~
2019年6月26日 円安リスクの点検 ~ 大統領選前にトランプは動くか ~ 2019年6月25日 対外資産・負債残高の近況 ~ 令和で経験する大きな変化 ~ 2019年6月24日 利下げ期待とドル/ 円相場の関係 ~ 「98年型利下げ、としても ~ 2019年6月21日 週末版(日銀金融政策決定会合を終えて ~ 「ドル高の修正、という大きな潮流 ~ )		
2019年6月25日 対外資産・負債残高の近況~令和で経験する大きな変化~ 2019年6月24日 利下げ期待とドル/円相場の関係~「98年型利下げ」としても~ 2019年6月21日 週末版(日銀金融政策決定会合を終えて~「ドル高の修正」という大きな潮流~)		
2019年6月24日 利下げ期待とドル/円相場の関係 ~ 「98年型利下げ」としても ~ 2019年6月21日 週末版(日銀金融政策決定会合を終えて ~ 「ドル高の修正」という大きな潮流 ~ )		
2019年6月21日 週末版(日銀金融政策決定会合を終えて~「ドル高の修正」という大きな潮流~)		利下げ期待とドル/円相場の関係~「98年型利下げ」としても~
<u>2019年6月20日   FOMCを終えて~「鏡に映った自分」に怒り続ける大統領~</u>	2019年6月21日	週末版(日銀金融政策決定会合を終えて~「ドル高の修正」という大きな潮流~)
	2019年6月20日	FOMCを終えて~   鏡に映った目分」に怒り続ける大統領~